

(東米良地域づくり協議会スローガン)
(^^♪ 老いも若きも健康作りで元気づくり
(^^♪ みんなで参加の地域づくり活動

お知らせ & セミナー案内

3月24日(土) ひむか芸術舞台IN西都 午後6:00～ 西都原特設ステージ
※銀鏡神楽・サラオレイン・ジル共演 入場料無料
4月10日(火) 銀上学園入学式 午前9:30～
4月末(日時未定) お大師講・鹿倉祭
4月中(日時未定) 東米良地域づくり協議会総会

※ 情報提供をお願いします。
各任意団体がイベントを計画されましたら、
ご連絡下さい。
外部からの、問い合わせに対しお答えで
きませんので、よろしくお願いします。



2月1日(木)夜中からの雨が雪へと変わり一面の雪化粧(銀鏡原地区)

東米良ゆず生産者大会

1月16日(火)、東米良ゆず生産者大会が行われてました。

品評会入賞者

優等賞(市長賞)	中武勝幸	小八重
一等賞(森林組合長賞)	壹岐やよい	尾八重
二等賞	梅木勝福	小椎葉
二等賞	中武清次	小八重
三等賞	河野喜夫	小八重
三等賞	山崎淑克	小八重
努力賞	森林組合	
努力賞	浜砂貞博	銀上
努力賞	甲斐公成	銀上
努力賞	浜砂次男	中尾



雨の少ないこの時期には、一ッ瀬ダムの水位が下がってきます。そこには、かつて人々が生活していた証が現れてきます。
右の写真は、八重の対岸に畑の跡が見えています。丁寧にひとつひとつ積み上げられた石垣は、その頃のそこに生活していた人たちの息づかいを感じるようです。



東米良通信

発行: 東米良地域づくり協議会
会 長: 濱砂 功一
事務局: 濱砂 隆文
〒881-1121 ☎0983-49-3031
住所: 西都市大字尾八重9番地
メール: higasimeras@saito-city.jp

	人口	男性	女性	世帯数
第59区	193名	98名	95名	108戸
第60区	39名	18名	21名	28戸
第61区	51名	29名	22名	39戸
合計	283名	145名	138名	175戸

平成29年度第6号
2018年2月1日現在

第40回「伊東一族の豊後落ちの道を歩こう会」

伊東家は、西都市の都於郡城を242年も居城とし、一時は48の出城を持ち、ほぼ日向全域を支配していた。しかし、今から446年前の1572年にえびのの木崎原の合戦で島津氏に敗れ5年後、都於郡城と佐土原城を捨て、遠縁にあたる大分の太友宗麟を頼って落ちていくのである。その時、伊東義祐は65歳、女、子供を含めた一行100名は、高鍋に行くが高鍋藩から通ることを禁じられ、やむなく穂北城から長谷を通り米良に入り、尾八重城主の保護を受け無事、大分に入るのである。この一行の中に、天正遣欧少年使節の伊東マンショ(当時8歳)がいた。

1月21日(日)、第40回「伊東一族の豊後落ちの道を歩こう会」で、旧岩井谷小学校を出発地点として、約90名がその名残りの道を歩いた。約5時間の行程を経て帰り着くと、支援の尾八重活性化推進委員会の、しし汁の振る舞いなどで参加者は、程よい疲れを癒していました。



有楽椿まつり

2月4日(日)、3年ぶりとなる「有楽椿まつり」が開催されました。有楽椿の里では、椿を鑑賞しながらの野点を楽しみ、尾八重眺峰館では、郷土芸能、特産品の抽選会などがあり、この日は、特別に寒い一日でしたが、約400名の来場者が天空の有楽椿を満喫しました。



有楽椿



尾八重神楽



銀鏡神楽

平成30年度滝開き

2月12日(月)、横平地区「水車滝」にて、平成30年度の滝開きが行われました。
当日は、小雪混じりのとても寒い日でしたが、参加者たちは、気合と共に滝につかりました。宮崎大学の男子学生は、「今日の滝行で己の甘さを感じた。これからの人生に生かしたい」と語っていた。



銀鏡神社祈年祭・防火祈願祭

2月17日(日)、銀鏡神社祈年祭および防火祈願祭が行われました。
祈年祭は、稲の豊作を祈る年ごいの祭りである。またこの日は、西都市の観光協会主催の「ニニギノミコト・コノハナサクヤヒメゆかりの地巡りバスツアー」が企画され、銀鏡神楽「莊厳」「柴荒神」「神崇」の3番が舞われ、参加した方からは、「今まで見た神楽とは全く違う。とても素晴らしかった」との言葉がありました。



銀上の休日

2月18日(日)、銀鏡集会所にて「銀上の休日」が行われました。
今回は、県の消費者センターの職員の方から、悪質商法やいろんなトラブルなどの講演がありました。
その後、祝宴が始まり、銀上学園の児童生徒や幼児によるダンスなど披露があり楽しい一日を過ごしました。



立志式

2月16日(金)、銀上学園「立志式」が行われました。
立志式では、中学2年生3名が立志式を迎えての夢や抱負また親への感謝の気持ちを述べました。
その後、かぐらの里の横瀬輔さんより「夢や希望を育む」という演題で講演をいただきました。
その中で、「何事にも挑戦する勇気、それに踏み出す最初の一步が大切」というのが印象的でした。



さいと食の大運動会

2月11日(日)、小野崎通りのパオ広場前を歩行者天国にして「さいと食の大運動会」が開催されました。東米良からは、(株)かぐらの里の若手社員で構成した「まじめにゆずづくり」チームが参加、総勢15チームで優勝を争いました。料理名は「ゆずと豆腐のアンサンブル」、三財で作られているアツアツにゆでた豆腐に銀鏡採れの柚子・椎茸・竹の子をメインに鶏のミンチを加えあんかけを作り色付けに人参・ネギを加えた一品。優勝は逃したものの、審査員からは絶賛の声があり、特別賞を頂きました。「来年は、優勝を」と、もう料理のアイデアを出しているようです。



宮崎大学「しろみ活性化作戦会議」

1月30日(火)、宮崎大学地域デザイン棟にて「しろみ活性化作戦会議」が開かれました。
この会議は、地域資源創成学部 of 生徒12名が「銀鏡地区の過疎化」をテーマとして、実際に銀鏡の現地調査をもとに、学生、教職員、かぐらの里の職員とが一緒になって今後の、銀鏡の地域活性化を考えていきます。宮崎大学では、今後もこのテーマを学生さんの研究に取り組んで行くことを約束されました。若い学生さんたちの斬新なアイデアに期待したいですね。



ディスカッションの様様